

令和 6 年度 集団回収実践団体アンケート集計結果

1. 実施時期 令和 6 年 7 月
2. 実施方法 アンケート用紙を郵送し、返送を依頼した。
3. 回答団体数 133 団体（アンケート送付：366 団体、回答率：36.3%）
4. アンケート結果（記述式による回答については、主な意見を抜粋）

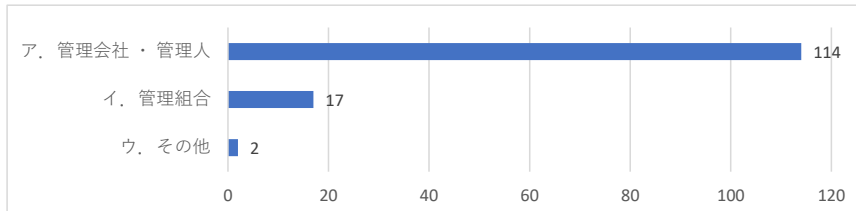
Q1 集団回収への参加人数は、おおよそ何名くらいですか

参加人数合計：10,553名

平均：80名、最大600名、最小0名

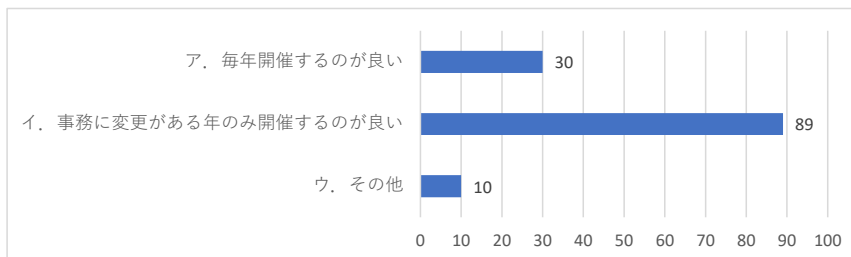
Q2 集団回収の活動は、どなたが中心となって実施(会計、連絡係など)していますか

集団回収の活動の中心となっているのは、管理会社・管理人が約86%であった。



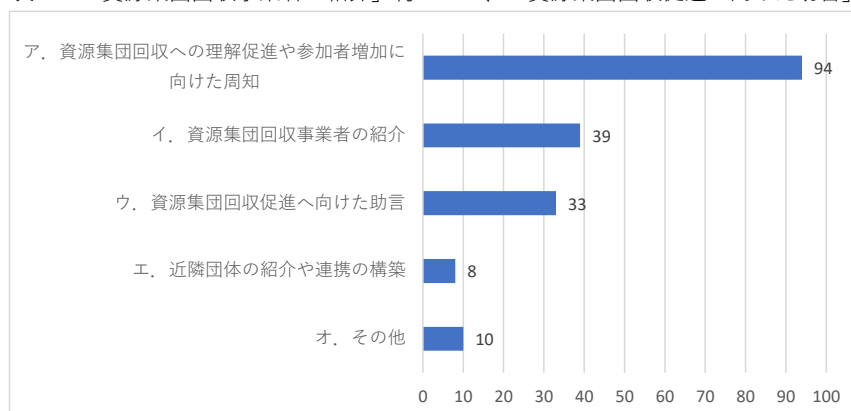
Q3 実践団体代表者懇談会について

実践団体代表者懇談会の開催について、「事務に変更がある年のみ開催するのが良い」が89団体、「毎年開催するのが良い」が30団体であった。



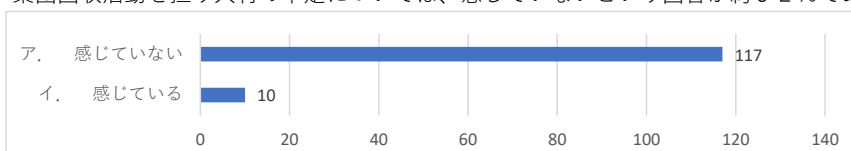
Q4 今後も継続していくために、区がどのような取り組みを行うべき（複数回答可）

「資源集団回収への理解促進や参加者増加に向けた周知」が最も多く約51%、次いで「資源集団回収事業者の紹介」約21%、「資源集団回収促進へ向けた助言」が約18%であった。



Q5 集団回収活動を担う人材の不足を感じていますか

集団回収活動を担う人材の不足については、感じていないという回答が約92%であった。



Q6 ①人材不足を解消するため、区からどのような支援があれば良いと思いますか。

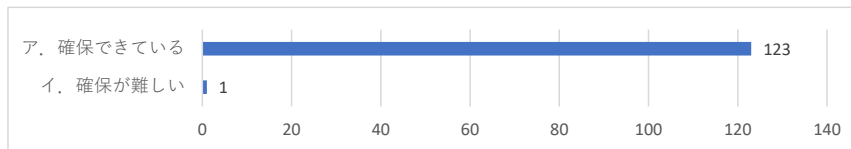
- ・外国人に対する理解促進や参加者増加に向けた周知活動
- ・PTA、学校教育のなかでごみの仕分け作業がどれほど地球のためになるかを教えるべき子供から親への働きかけも期待できる、自分自身も参加しようという気になる

②他団体(他の実践団体やPTA、清掃協力会等)と連携したいと思いますか。

- ・住民側の軽減（分別など）現時点では消極的

Q7 資源の保管場所は確保できていますか

資源の保管場所については、確保できているという回答が約99%であった。



Q8 保管場所の確保のために、工夫していることがあれば、教えてください

- ・整理整頓している、夏場は臭気に対策
- ・品目ごとに分別、品目ごとに表示、品目ごとにまとめている

Q9 ①保管場所の不足を改善するには、区からどのような支援があれば良いと思いますか

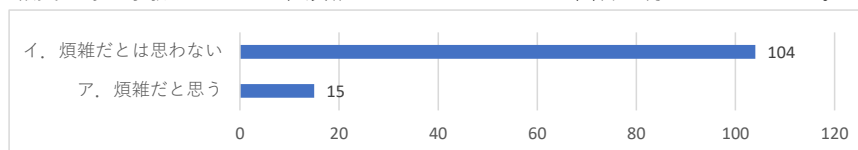
- ・回収場所の増加、回収時間帯の拡充、回収日を増やしてほしい
- ・ポリバケツの蓋の支給、ボックス等の提供、コンテナの支援
- ・缶専用のかごがあれば助かる、ペットボトルあみを増やせないか

②他団体(他の実践団体やPTA、清掃協力会等)と連携したいと思いますか

- ・他の団体の工夫などがあれば知りたい
- ・町内会等の定期的な話し合い

Q10 報奨金等の事務が煩雑だと思いますか

報奨金等の事務については、煩雑だとは思わないという回答が約87%であった。



Q11 報奨金等事務の煩雑さについてご意見を

- ・報告書はPDFにしてメール
- ・代表者印鑑が不要になると助かる
- ・報奨金は紙でなく電子化
- ・代表者が毎年変更するのでその都度変更届を提出しなければいけないのが面倒、口座については管理組合で登録しているのであれば不要だと思う

Q12 区から支給される報奨金の使途

- ・管理組合の収入、管理組合の活動
- ・消耗品・備品購入

Q13 その他のご意見やご要望

- ・20年・30年以上の表彰はないか。啓発ポスターはないか
- ・報奨金事務については、管理事務所の人間が日々かわるので締切りが近くになったら電話により連絡をいただきたい
- ・支援物品にほうき・塵取りを加えてほしい、シュロほうきは使わない、玄関ほうきにしてほしい
- ・ペットボトル・びんの集団回収はしていますか